

ちょっと暮らしサポート事業

取り組みの概要

「ちょっと暮らしサポーター」として、民間事業者等の協力・参加を得て、帯広市への移住等を検討して短期滞在（ちょっと暮らし）する方に対して、滞在施設を一定の要件に基づいて提供するとともに、情報提供や相談対応などのサポートをし、定住・交流人口の増加を促進します。

協働の きっかけ

移住への関心の高まりや移住希望者の多様な宿泊ニーズに応える必要があるなか、市では、市有施設を利用した短期滞在施設を確保することが難しい状況にあるが、市内に多くあるホテルや旅館等（＝民間の施設）を有効活用し、滞在施設を確保しようとしています。

観光交流課

- ・本市への移住・交流の促進を図ることができる。

- ・サポーターの募集・登録
- ・移住PR・相談対応窓口の開設



事業者（旅館業者、 ホテル業者等）、市民

- ・移住希望者が、短期滞在する潜在施設を提供することができる。

- ・潜在施設提供（生活体験可、安心・低料金）
- ・生活情報提供・アドバイス

強み

役割

協働の 成果

- 市へ移住相談・滞在希望が寄せられた場合は、サポーターの紹介に努めており、徐々に利用実績が増加しつつあります。
- サポーターの施設を利用し、実際に市内に移住した事例もあります。

協働のポイント

施設の提供以外にも、移住・交流の促進のため行政と民間事業者がさらに連携していく必要があります。

